

事務事業評価(平成26年度に実施した事務事業)

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H26 事業概要	H26 事業実績	H26決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H26 目標	H26 実績	H27 目標	事業の 進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性	
																									必要
245	健康福祉部	健康増進課	04	01	01		健康福祉センター管理運営業務	健康福祉センターを快適に利用してもらうため、施設・設備の維持修繕を行う。	健康福祉センターの管理運営に必要な経費。	光熱水費・施設管理委託 健康福祉センターの利用者数 48,495 人	18,975	施設内の事故件数	件	0	0	0	B	A	A	B	A	B	建設後13年が経過し、備品等の老朽化や空調整備に不備があり修繕の必要が生じている。	継続	
249	健康福祉部	健康増進課	04	01	02	★	健康づくり推進事業	・市民の健康づくりのため、地区活動の活性化と地域の活性化をすすめる。 ・「健康こさい21」計画に基づく健康づくり事業を推進する。	・保健推進委員を委嘱し、健康づくりの担い手となるとき、住民と行政のハイブリットとしての活動をする。 ・「健康こさい21」推進のための事業を実施する。	・市内9地区で68人の保健推進委員を委嘱し、健康づくりの研修を行うとともに、市内各地区での健康づくりを推進した。 ・「こころの健康づくりの啓発や自殺予防対策の街頭キャンペーン等をした。	3,040	保健推進委員会自主活動の参加者数	人	2,000	1,682	2,000	A	A	A	B	A	A	A	保健推進委員の協力を得て各地区まんべんなく健康づくりを推進している。健康こさい21の計画をたて、今後の方向性をだしていくことが効果的である。	改善(その他)
250	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		湖西市健康づくり推進協議会	地域保健法の市町村保健センターの運営にあつたて、健康づくり推進協議会の設置が義務づけられている	湖西市の健康づくりの運営にあたる各組織の代表者からなる会議。	年2回会議を開催し、市民の健康づくり事業への提言を行った。	85	健康づくり推進協議会の開催回数	回	2	2	2	A	A	A	A	A	A	法的に位置付けられていて、企画、運営業務の評価等を効果的に実施している。	継続	
251	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		健康まつり事業	健康に関する知識を広く市民に啓発することを目的とする。	健康づくりの各種催しものをふれあい広場と同時に開催する。	9月28日実施。来場者1,120人 健康づくりと生活習慣予防の知識普及を行った。	167	健康まつり入場者数	人	1,400	1,120	1,400	A	A	A	B	A	A	広く市民に健康に関する知識を啓発し、生活習慣の改善に参考となる機会である。	継続	
252	健康福祉部	健康増進課	04	01	02	★	食育推進事業	・栄養及び食生活改善並びに健康増進に関する知識の普及を図り、健全な食生活を実践できる人を育てていく。	・食育推進計画の推進。 ・健康づくり食生活推進員養成講座の開催。 ・健康づくり食生活推進員の育成及び事業委託。	・食育推進連絡会 年2回 ・子どもの食育教室 ・各地区での食育推進事業 ・地場産物のPR(料理コンテスト実施)	1,003	食生活推進協議会自主活動の参加者数	人	1,100	864	1,100	A	A	A	B	A	A	A	市民のニーズと事業実施の意義がある事業と思われる。計画を通して目標をたて達成率を注視している。	継続
266	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		2歳親子教室事業 (H27年度から幼児健診事業に統合)	フッ化物塗布の定期的な実施と歯科指導の実施により、むし歯の有病率低下を図る。また、保護者への歯周病健診により、早期発見・予防知識の普及を図る。	2歳児の健診とフッ化物塗布、その保護者を対象とした歯周病検診を行う。	教室参加者 450人(95.7%) フッ化物塗布 442人 歯周病検診 447人	1,028	2歳親子教室の参加率	%	94	95.7	/	A	A	A	B	A	A	虫歯の発生率が高くなるこの時期にフッ化物塗布と健診を実施することで虫歯の早期発見と有病率低下を図る。子どもだけでなく母親も健診を受ける事で早期発見予防知識の普及を図る。	継続	
267	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		歯の健康まつり事業	市の歯科保健全般にわたる事業充実のため、歯科についての正しい知識の普及を図る。	乳幼児から高齢者までの幅広い層を対象に歯科衛生のための知識を普及するため、歯の衛生週間に併せて年1回「歯の健康まつり」を実施する。	8020コンクール受賞者 58人 来場者 675人	539	歯の健康まつりの入場者数	人	870	675	870	A	A	A	B	A	A	歯と口の健康に関する正しい知識を市民に啓発し、歯科疾患の予防や早期発見をすることが出来る。	継続	
268	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		歯科保健指導・訪問事業	歯科衛生の知識を高め、歯科疾患を予防する。	歯科衛生士による保健指導や訪問事業を行う。	口腔歯科保健訪問人数 88人 育児相談(歯科個別) 24人	1,950	訪問指導人数	人	75	88	90	A	A	A	B	A	A	個別に訪問、指導し、歯科衛生の知識を直接伝える事の出来る事業	継続	
269	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		歯周病検診事業 (H27年度から生活習慣病健診事業に統合)	歯周病の早期発見と歯周病検診の受診率の向上	歯周病の早期発見、知識の普及を図り、口腔内の健康を守り、老年期の生活の質の向上・8020の実現を目指す。受診率の向上をすすめるため、本年度より満40、50、60歳の市民に無料クーポンを郵送。70歳は、申込みにより配布。市内歯科医院で実施する。	受診者数 186人	602	歯周病健診の受診者率	%	8	5.4	/	A	A	A	B	A	A	歯科疾患でとどまらず、血管系の疾患までも引き起こす歯周病。早期発見と早期治療に結びつく事業のため	継続	
270	健康福祉部	健康増進課	04	01	02	★	フッ化物洗口事業 (H27年度から歯科保健指導・訪問事業に統合)	・永久歯のむし歯予防対策として、保育・教育施設においてフッ化物洗口を実施することにより、むし歯の罹患率を低下させ、子どもたちの健全歯を育成する。	・4・5歳児に対し、週5回のフッ化物洗口を実施する。	・参加者数 983人(989人中)	163	フッ素洗口の参加者率	%	100.0	99.4	/	A	A	A	B	A	A	永久歯のむし歯予防には有効な事業であり、知識の普及、歯みがき実技指導と併せて実施することで効果は増大すると考えている。	継続	
271	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		8020推進ステーション事業 (H27年度から歯科保健指導・訪問事業に統合)	住民を中心に8020ステーション展開に向け住民主体の推進組織の養成と活動の定着を図る。	歯科保健対策を効果的に推進するため、従来の専門家と行政の会議から、住民を中心とした歯科アドバイザー活動を行う。	歯科アドバイザー勉強会 8回 参加者 延 47人 健康増進課事業 1回 参加者 延 6人	0	アドバイザー活動参加者数	人	75	53	/	A	A	A	B	A	B	H19年に発足した当初からメンバーで構成されており、高齢化も進み今年度現メンバーは卒業となった。今年度は新メンバーを募集するために養成講座を開催する予定。メンバーの役割については検討する。	改善(その他)	
272	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		学校等歯科保健事業 (H27年度から歯科保健指導・訪問事業に統合)	乳幼児健診以降の子どもに歯科保健指導を実施し、う歯の発生や歯周病予防を図る。	幼稚園・保育園・小学校において、園や学校の職員と連携を取りながら、歯科保健指導を実施する。	各施設年2回実施 延人数 2,262人 (幼稚園・保育園1,884人・小学校378人)	314	参加者数	人	2,300	2,262	/	A	A	A	B	A	A	歯垢が付着していたり、歯肉の状態が悪い児童に個別に歯科指導を実施することがむし歯の発生や歯周病の予防につながる。	継続	